

令和8～17年度 玉島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託経費設計書

(収集区域 : 玉島地区全域)

資源循環推進課

R8～17年度 玉島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託数値算定表

燃やせるごみ搬送先：倉敷西部クリーンセンター

◆玉島地区 家庭ごみ排出量年度別推移表 (ステーション収集)

単位：t

ごみ種	令和元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	R8年度排出予測量
燃やせるごみ	11,284	11,044	10,955	10,696	10,195	9,940
		▲2.12%	▲0.80%	▲2.37%	▲4.69%	▲2.50%
埋立ごみ	245	230	254	227	203	195
		▲6.31%	10.40%	▲10.66%	▲10.41%	▲4.25%
紙・布類	256	267	265	248	231	226
		4.36%	▲0.57%	▲6.39%	▲6.86%	▲2.37%
金属類	113	126	119	105	100	100
		11.72%	▲5.79%	▲11.64%	▲4.74%	▲2.61%
スプレー缶	—	—	—	—	7.25	9
					R5年度実績9か月	
びん類・蛍光	276	271	254	244	234	224
		▲1.80%	▲6.43%	▲3.68%	▲4.32%	▲4.06%
ペットボトル	38	38	40	39	38	38
		1.03%	3.31%	▲2.20%	▲1.93%	0.05%
小計	928	933	932	863	807	783
合計	12,212	11,977	11,887	11,560	11,001	10,723

減少率

廃乾電池は埋立に含む

◆玉島地区 委託基準量(年)

令和元年度から令和5年度排出量の平均減少率から令和8年度の排出予測量を算出する。

委託範囲：玉島地区全体(100%)

燃やせるごみ	9,940	t/年 ×	100% =	9,940	t/年 =	9,940	t/年
埋立ごみ	195	t/年 ×	100% =	195	t/年 =	195	t/年
紙・布類	226	t/年 ×	100% =	226	t/年 =	226	t/年
金属類	91	t/年 ×	100% =	91	t/年 =	91	t/年
スプレー缶	9	t/年 ×	100% =	9	t/年 =	9	t/年
びん類・蛍光管	224	t/年 ×	100% =	224	t/年 =	224	t/年
ペットボトル	38	t/年 ×	100% =	38	t/年 =	38	t/年
◆玉島地区 全面委託基準量						10,723	t/年

◆玉島地区 全面委託基準量

ごみ種	委託基準量 (R8玉島地区 排出予測量)
燃やせるごみ	9,940
埋立ごみ	195
紙・布類	226
金属類	91
スプレー缶	9
びん類・蛍光管	224
ペットボトル	38
計	10,723

◆玉島地区 全面委託業務における設計(積算)

令和元年度から令和5年度排出量の平均減少率から令和8年度の排出予測量を算出する。

◆玉島地区 全面委託業務におけるごみ種別処理(搬送)先

- 燃やせるごみ 倉敷西部クリーンセンター
- 埋立ごみ 倉敷西部クリーンセンター
- 紙・布類 (株)カンガイ 三宅銀市商店
- 金属類 (株)カンガイ 三宅銀市商店
- びん類・蛍光管、スプレー缶 資源選別所、田中商会
- ペットボトル 倉敷リサイクルセンター((協)倉敷環境システム)

◆玉島環境センター受けの搬送業務

◆玉島地区 1トリップあたりの基礎数値

ごみ種	収集時間/h	積載量/kg	走行距離/Km	使用車種	乗車人員/台
	①	②	③	④	⑤
燃やせるごみ	1.19	1,986	20.25	パッカー	2
埋立ごみ	2.83	1,591	34.20	パッカー	2
紙・布類	2.63	1,000	36.23	パッカー	2
金属類	0.93	447	14.95	パッカー	2
スプレー缶	4.04	480	14.95	リフト付ダンプ車	2
びん類・蛍光管	2.02	1,297	31.97	リフトトラック	3
ペットボトル	2.90	500	30.80	パッカー	2

9.41%

金属のうちスプレー缶割合9.41%(R5実績)

◆玉島地区 必要収集車両台数及び必要人員

ごみ種	委託基準量	月間平均収集量	月間総トリップ数平均	1日可能トリップ数	月間平均稼働日数	必要台数(20日/月稼働)	最終必要台数	必要人員
	A	B=A÷1.2	C=(B÷②)×1000	D=6.5h÷①	E=C÷D	F=E÷20	G	H=G×⑤
燃やせるごみ	9,940	828.36	417.10	5.47	76.20	3.81	4.00	8.0
埋立ごみ	195	16.21	10.19	2.30	4.44	0.22	0.35	0.7
紙・布類	226	18.83	18.83	2.47	7.62	0.38	0.50	1.0
金属類	91	7.55	16.89	6.99	2.42	0.12	0.20	0.4
スプレー缶	9	0.78	1.63	1.61	1.02	0.05	0.10	0.2
びん類・蛍光管	224	18.68	14.40	2.97	4.85	0.24	0.30	0.9
ペットボトル	38	3.17	6.34	2.24	2.83	0.14	0.20	0.4
計							5.65台	11.6人

※6.5h/日稼働時間(16時搬入終了)

◆玉島地区 必要収集車両台数及び必要人員(調整)

経費	ごみ種	使用車種	必要台数	乗車人員/台	必要人員	備考
収集関係	燃やせるごみ	パッカー車	4.80	2人/台	9.6人	
	埋立ごみ	パッカー車	0.40	2人/台	0.8人	
	紙・布類	パッカー車	0.70	2人/台	1.4人	
	金属類	パッカー車	0.40	2人/台	0.8人	
	スプレー缶	リフト付ダンプ車	0.10	2人/台	0.2人	
	びん類・蛍光管	リフト付ダンプ車	0.50	3人/台	1.5人	
	ペットボトル	パッカー車	0.40	2人/台	0.8人	
計			7.30台		15.1人	

+ 予備車両 1.0台 = 8.30台

◆玉島地区 管理部門体制

職種	必要人員	備考
現場責任者	1人	
正社員(事務等)	1人	
臨時職員(事務)	1人	
計	3人	

集計表	搬送先	収集人員	事務所人員	合計
	倉敷西部クリーンセンター	15.1人	3.0人	18.1人

玉島地区 家庭ごみセンター受運搬業務委託積算表(玉島環境センター持込ごみ搬送業務)

1. 市民が玉島環境センターに持ち込んだ下記ごみ種を、受入状況(量)を見ながら、随時、それぞれの処理施設に搬送する業務を委託する。
2. 委託先は、玉島地区家庭ごみ収集運搬受託業者とする。
3. 委託期間は、令和8年4月1日から令和18年3月31日とする。
4. 搬送ごみ種は、資源ごみ(缶、びん類・蛍光管、雑誌、新聞、ダンボール、牛乳パック、布類、スプレー缶)、使用済乾電池、その他、玉島環境センター所長が搬送を必要と認めたごみ種とする。
5. 搬送先は、市(玉島環境センター)が、指示する処理施設とする。(各処理施設の搬入時間内とする。)
6. 搬送日時は月曜日から金曜日とする。平日の祝日を含むが、各処理施設の休業及び搬入時間を確認すること。(年末、年始の休業日は除く。)
7. 搬送に使用する車種は、玉島地区家庭ごみ収集運搬業務に使用しているパッカー車又はトラック車とする。
8. 搬送方法(計画)は、下記の方法のいずれかとする。
 (1)持込ごみだけを搬送するために搬送計画(配車)する。 (2)1日1回、玉島環境センターに連絡等で寄った時、その車が、次の日の収集計画に合うごみ種を積載し、搬送する。

9. 積算根拠

(1) R8 玉島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託 ごみ種別1台/1人/1トリップ当たりの運行経費(人件費;給料、諸手当、賞与、車両関係費;燃料費、の経費)

ごみ種	給料	諸手当	賞与	乗車人員	1人当たりの人件費	燃料費	合計	総トリップ数	トリップ運行経費
可燃ごみ	5ページで算定①	②,476,000	③	2	(①+②+③)/2	6ページで算定		5,005	
埋立ごみ		1,476,000		2				122	
資源ごみ(缶・金属)		1,476,000		2				203	
資源ごみ(びん類・蛍光管)	8ページで算定④	2,214,000	8ページ	3				173	
スプレー缶		2,214,000		2				20	
資源ごみ(紙、布)		1,476,000		2				226	
							X	5,749	Y=X/5748
									6種平均TP運行経費
									≒ Y 円/TP・人

- (2) 搬送回数は、持込量により、玉島環境センターの指示等で、随時各処理施設へ搬送するものとする。
 (3) 搬送人員は、原則として1人とする。

10. 積算

(1) 6種平均TP運行経費 Y 円/TP・人とする。

(2)委託料	スプレー缶	Y	円/TP・人	×	15	回	=		円
	缶・金属	Y	円/TP・人	×	111	回	=		円
	びん類・蛍光管	Y	円/TP・人	×	55	回	=		円
	紙・布	Y	円/TP・人	×	369	回	=		円

令和5年度 玉島環境センター持込ごみ搬送実績表

ごみ種	台数・重量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	搬送先	
資源ごみ	びん類・蛍光管	台数	4	5	4	4	5	5	4	5	5	6	4	4	55	4.58	資源選別所 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 三宅銀市商店 カンガイ 田中商会 井津井処分場
		重量	4,120	5,140	4,230	3,500	4,840	5,110	3,550	4,170	5,710	5,690	3,710	4,640	54,410	4,534	
	缶・金属	台数	9	8	9	9	10	9	8	9	11	11	9	9	111	9.25	
		重量	3,940	5,330	4,110	3,510	4,060	3,980	4,090	4,570	5,720	4,380	3,370	4,420	51,480	4,290	
	雑誌	台数	8	8	7	5	8	7	7	7	9	7	6	7	86	7.17	
		重量	9,550	12,190	7,180	4,780	8,650	6,400	4,650	6,650	9,590	7,610	5,910	9,390	92,550	7,713	
	新聞	台数	7	6	6	5	8	7	6	7	9	6	5	6	78	6.50	
		重量	3,100	4,020	2,410	3,120	2,920	2,640	2,070	3,350	4,020	2,290	2,200	3,050	35,190	2,933	
	ダンボール	台数	12	15	13	13	13	13	13	13	14	14	12	13	158	13.17	
		重量	4,680	6,170	4,300	4,660	4,620	4,770	4,940	4,550	6,820	5,190	4,110	4,880	59,690	4,974	
	牛乳パック	台数	0	1	1	1	0	3	1	0	1	1	2	0	11	0.92	
		重量	0	10	10	10	0	30	10	0	10	10	20	0	110	9	
	布類	台数	12	15	13	13	13	13	13	13	14	13	12	13	157	13.08	
		重量	7,000	11,300	6,210	5,760	4,720	4,080	7,500	6,630	6,900	6,090	5,900	5,420	77,510	6,459	
	スプレー缶	台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
		重量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用済乾電池	台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
		重量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	台数	56	64	57	54	63	62	57	60	69	63	55	58	718	60		
	重量	37,090	52,720	33,280	30,020	34,980	31,920	32,440	36,430	46,800	39,390	31,000	38,800	444,870	37,073		

※ 紙・布トリップ数(490回)の内 約25%を積み合わせとする。

490回 × 0.75 ≒ 369回/年

令和5年度
は実績なし

令和8～17年度 玉島地区家庭ごみ収集業務委託金額内訳表(全面)

搬送先:倉敷西部クリーンセンター

消費税 10% 1.1

		収 集 業 務							計	事務所管理費			
		可 燃 ご み	埋立ごみ	資源ごみ (金 属 類)	資源ごみ ペットボトル	資源ごみ (びん類・蛍光管)	資源ごみ (スプレー缶)	資源ごみ (紙・布)		車 両 (台)	7.30	現場責任者	1 名
設計内容	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員2名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名		予備車両 (台)	1.0	正社員	1 名	
	収集人員 2.0 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名	収集人員 3 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名		計 (台)	8.30	臨時職員	1 名	
	3tパッカー 4.8 台	3tパッカー 0.4 台	3tパッカー 0.4 台	3tパッカー 0.4 台	3tリフトダンプ 0.5 台	3tリフトダンプ 0.1 台	3tパッカー 0.7 台		収集人員	15.10	計	3 名	
	9.6 名	0.8 名	0.8 名	0.8 名	1.5 名	0.2 名	1.4 名				総計18.10 名		
収 集 車 両 1 台 当 た り の 運 行 経 費													
直 接 費	人 給料	()	()	()	()	()	()	()	()	()	間 接 費	報酬	
	諸手当	()	()	()	()	()	()	()	()	()		給料	
	賞与	()	()	()	()	()	()	()	()	()		賃金	
	法定福利費	()	()	()	()	()	()	()	()	()		諸手当	
	小計	()	()	()	()	()	()	()	()	()		()	賞与
福利厚生費	被服費	()	()	()	()	()	()	()	()	()	法定福利費		
接 費	物 消耗品費	()	()	()	()	()	()	()	()	()	福利厚生費		
	燃料費	()	()	()	()	()	()	()	()	()	収集人員15名		
	修繕料	()	()	()	()	()	()	()	()	()	小計		
	小計	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	消耗品費	
費	車 減価償却費	()	()	()	()	()	()	()	()	()	光熱水費 (燃料費含む)		
	自動車保険料	()	()	()	()	()	()	()	()	()	通信運搬費		
	自動車税	()	()	()	()	()	()	()	()	()	建物等 維持管理費 (設備管理委託)		
	利息償還	()	()	()	()	()	()	()	()	()	賃借料 (土地、建物等)		
小計	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	小計		
予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	有形固定資産	減価償却費	
合計(1台あたり)	年間経費 (合計×台数)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	退職金共済費		
予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	収集人員15名		
センター受け搬送経費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	減価償却費		
1年間総経費											事務所 車庫		
											小計		
委託期間(10年)総経費											年間合計	収集人員15名	
直接費総合計											委託期間(10年)総経費	収集人員15名	
											間接費合計		

委託期間(10年)												
直接費+間接費(設計金額)												
委託金額(諸経費、利益 10%)												
委託金額(消費税込み)												

令和8～17年度 玉島地区家庭ごみ収集業務委託金額内訳表(全面)

算出記入例

		収 集 業 務							計	事務所管理費			
		可燃ごみ	埋立ごみ	資源ごみ (金属類)	資源ごみ ペットボトル	資源ごみ (びん類・蛍光管)	資源ごみ (スプレー缶)	資源ごみ (紙・布)	車 両 (台)	7.30	現場責任者	1名	
設計内容		運転手1名、作業員1名 収集人員 2.0名 3tパッカー 4.8台 9.6名	運転手1名、作業員1名 収集人員 2名 3tパッカー 0.4台 0.8名	運転手1名、作業員1名 収集人員 2名 3tパッカー 0.4台 0.8名	運転手1名、作業員1名 収集人員 2名 3tパッカー 0.4台 0.8名	運転手1名、作業員2名 収集人員 3名 3tリフトダンプ 0.5台 1.5名	運転手1名、作業員1名 収集人員 2名 3tリフトダンプ 0.1台 0.2名	運転手1名、作業員1名 収集人員 2名 3tパッカー 0.7台 1.4名	予備車両 (台) 計 (台) 収集人員	1.0 8.30 15.10	正社員	1名	
		収 集 車 両 1 台 当 た り の 運 行 経 費							計	その他事務所管理経費等			
直 接 費	人 件 費	給料	①	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計①⑪⑫⑬⑭⑮⑯	報酬		
		諸手当	②								給料		
		賞与	③								賃金		
		法定福利費	④								諸手当		
	小計	①+②+③+④									賞与		
	福利厚生費	被服費	イ								法定福利費		
	物 件 費	消耗品費										小計	
		燃料費										福利厚生費	
		修繕料										収集人員15名	
	小計	ウ											
車 両 関 係 費	減価償却費												
	自動車保険料												
	自動車税												
	利息償還												
小計	エ												
予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-					
合計(1台当たり)	年間経費(合計×台数)	(ア+イ+ウ+エ)											
予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-					
センター受け搬送経費		-	-	-	-	-	-	-					
1年間総経費													
委託期間(10年)総経費													
直接費総計										Q			
委託期間(10年)総経費													
間接費合計												R	

委託期間(10年)	直接費+間接費(設計金額)	A=Q+R	円			
	委託金額(諸経費、利益 10%)	B=A×1.1	円	A×0.1	円	(10%)
	委託金額(消費税込み)	C=B×1.1	円	B×0.1	円	消費税
					B	円(消費税除く)
						4

令和8~17年度 玉島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託費用試算表

車1台当たりの年間運行経費

燃やせるごみ、埋立ごみ、資源ごみ(缶、金属類、ペットボトル、古紙類・古布類)

消費税 10% 1.1

NO. 1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積算基礎			
直人件	給料	① 円	収集人員 = 運転手+作業員 ・運転手(1名) 円 / 月 × 1名 × 12月 = 円 ・作業員(1名) 円 / 月 × 1名 × 12月 = 円			
	諸手当	② 1,476,000 円	(あ+い+う+え) 61,500 円 / 名 × 2名 × 12月 = 1,476,000 円 ・扶養手当(配偶者・子供1人) 配偶者 3,000 円 / 月 子供1人につき 11,500円/月 (3,000 円 / 月 + (11,500 円 / 月 ・ 人 × 1人)) = 14,500 円 / 月 あ ・通勤手当 8,000 円 / 月 い ・住居手当 2,000 円 / 月 う ・特勤手当 1,850 円 × 20日 / 月 = 37,000 円 / 月 え 合計 61,500 円			
	賞与	③ 円	年間 4.60 ヶ月 ・運転手(1名) 円 / 月 × 1 × 4.60 月 = 円 ・作業員(1名) 円 / 月 × 1 × 4.60 月 = 円			
	法定福利費	④ 円	・健康保険料 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 = 円 ・厚生年金 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 = 円 ・雇用保険料 円 × 6 / 1000 = 円 ・労災保険料 円 × 13 / 1000 = 円 ・児童手当拠出金 円 × 3.6 / 1000 = 円			
人件費計		円				
費	福利厚生費	円	('か'から'た'までの合計額) 円 / 名 × 2名 = 円 ・作業服(夏・冬それぞれ年2回) 夏 円 / 着 × 2着 = 円 か 冬 円 / 着 × 2着 = 円 き ・防寒着(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円 く ・雨合羽(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円 け ・作業靴(年1足) 円 / 足 × 1足 = 円 こ ・ゴム手袋(年12双) 円 / 双 × 12双 = 円 さ ・長靴(2年1足) 円 / 足 × 0.5足 = 円 し ・作業帽子(年1回) 円 / 個 × 1個 = 円 す ・軍手(月1双) 円 / 双 × 12双 = 円 せ ・石鹸(年20個) 円 / 個 × 20個 = 円 そ ・タオル(年12枚) 円 / 枚 × 12枚 = 円 た			
	福利厚生費計	円				

(賃金センサスの廃棄物処理従業員の平均給与月額)
(諸手当:上記金額に含む)

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)

あ国家公務員一般職の給与に関する法律による。
 い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
 う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,629円)
 え国家公務員に塵芥作業に該当する特殊勤務手当がないため、
 倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)

・健康保険料(40才未満を適用。) 101.7(R7.3~)介護非該当
 ・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法

○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
 給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

単価=R5倉敷市(一般廃棄物対策課)購入単価。

支給個数等=倉敷市に準ずる。

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)				
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎					
直 物	消 耗 品	円	・タイヤ	円 / 本	×	1.1 × 6 本	=	円
			・チューブ	円 / 本	×	1.1 × 6 本	=	円
			・フラップ	円 / 本	×	1.1 × 6 本	=	円
			・エンジンオイル	円 / ㍓	×	1.1 × 5 ㍓ × 4 回	=	円
			・バッテリー	円 / 個	×	1.1 × 1 回 × 1 / 2 年	=	円
			・洗油	円 / ㍓	×	1.1 × 5 ㍓ × 2 回 / 年	=	円
			・ポンプオイル(油圧)	円 / ㍓	×	1.1 × 2 ㍓ × 12 回 / 年	=	円
			・不凍液	円 / ㍓	×	1.1 × 2 ㍓	=	円
			・ギヤオイル	円 / ㍓	×	1.1 × 6 ㍓	=	円
		件 費	費		・洗車ブラシ	円 / 個	×	2 本
	・ウエス			円 / 束	×	2 束	=	円
	・バケツ			円 / 個	×	1 個	=	円
	・洗車石鹸			円 / 缶	×	1 缶	=	円
	・ワックス			円 / 個	×	2 個	=	円
	・竹ホーキ			円 / 本	×	2 本	=	円
	・塵取ホーキ			円 / 本	×	2 本	=	円
	・チリトリ			円 / 個	×	2 個	=	円
	・スコップ			円 / 本	×	1 本	=	円
接 費	燃 料 費			円	・軽油:燃料1リットルにつき4km走行するとして算定する。 可燃ごみ搬送先:倉敷西部クリーンセンター	年間走行距離		
		円	・可燃ごみ	円 / ㍓ ×	1.1 ×	101,355 km/年 ÷ 4 km/l ÷ 4.8 台	=	円
		円	・埋立ごみ	円 / ㍓ ×	1.1 ×	4,183 km/年 ÷ 4 km/l ÷ 1 台	=	円
		円	・資源ごみ(金属)	円 / ㍓ ×	1.1 ×	3,031 km/年 ÷ 4 km/l ÷ 1 台	=	円
		円	・ペットボトル	円 / ㍓ ×	1.1 ×	2,343 km/年 ÷ 4 km/l ÷ 1 台	=	円
		円	・古紙・古布	円 / ㍓ ×	1.1 ×	8,185 km/年 ÷ 4 km/l ÷ 1 台	=	円
費	修 繕 料	円	(は+ひ+ふ)の合計額	円				
			・車検修理(年1回)	円	は			
			・定期点検(6ヶ月点検)	円	ひ			
			・一般修理	円	ふ			
費	物件費計	円	可燃ごみ(新ごみ施設)					
		円	埋立ごみ					
		円	資源(金属類)					
		円	ペットボトル					
		円	古紙・古布					

年に6本

3ヶ月に1回の交換
2年に1回の交換
オイル交換2回に1回の作業、1回に5%。
月1回の給油、1回に2リットル
年1回継ぎ足し、1回に2リットル
年に6リットル

年に2本(税込)
年に2束(税込)
年に1個(税込)

2tパッカー車 平均燃費 4.51km/リットル(全センター)
4tパッカー車 平均燃費 3.47km/リットル(全センター)
3tパッカー車 の燃費は、2tと4tの平均をとって、4.0km/リットルと想定して算定する。

令和6年度 試算

(令和8年度 委託分)

燃やせるごみ、埋立ごみ、資源ごみ(缶、金属類、ペットボトル、古紙類・古布類)

NO. 3

目 節		1ヶ年原価	積 算 基 礎				
直 接 費	車 関 係	減 価 償 却 費	・3tパッカー車(ダンプ式) $\frac{a}{a}$ 円(諸経費を除く車両本体価格) 標準使用年数 9.5年、償却率 年0.105 $\frac{b}{b}$ 円	\times	$1.1 \times$	$=$	b 円
	両 関 係	自 動 車 保 険 料	・強制保険料 ・任意保険料 [対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)] ・登録代行手数料 ・車庫証明代行手数料 ・納車手数料	\times \div \div \div	1年 9.5年 9.5年 9.5年	$=$ $=$ $=$ $=$	円 / 年 0円 0円 0円 0円
	係	自 動 車 税	・自動車取得税 180,200 円 ・自動車重量税 100,800 円 ・自動車税	\div \div	9.5年 2年	$=$ $=$ $=$	18,969 円 50,400 円 24,000 円
	費	利 息 償 還	・中小企業融資制度 3tパッカー車取得価格 借入金利率 年1.80%(変動金利) 償還期間 1年を超え8年以内(据置1年以内) 保証料 年1.0%	\times \times \times	$1.1 \times$ 年1.80% (変動金利) 償還期間 1年を超え8年以内(据置1年以内) 保証料 年1.0% $(\text{円} \times 0.018 / \text{年}) + (\text{円} \times 0.01 / \text{年})$	$=$ $=$	円 円
車両関係費		① 円					
費	予 備 車 経 費	予備車経費 ・消耗品費 ・燃料費 ・修繕料 () ・上記、車両関係費計	\times \times \times \times	0.5 0.5 円 + 円 円	\times \times \times \times	$=$ $=$ $=$ $=$	円 円 円 円 円 円
	直 接 費 合 計	可燃ごみ 埋立ごみ 資源(金属類) ペットボトル 古紙・古布	円 円 円 円	※ 上記、予備車経費は含まず。			

標準使用年数9.5年=R5年度建設機械等損料表による。

任意保険料 [対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]

※ 車両保険は計上しない。

企業安定資金融資(中小企業者):(R6.4現在)
 限度額 2,000万円以内、 融資利率 1.80%、 保証料 1.52%以内

予備車経費1台分の内訳
 物件費 (1) 消耗品費 \times 0.5、 (2) 燃料費(可燃ごみ) \times 0.5
 (3) 修繕料(車検修理、定期点検の積算金額) + (一般修理費 \times 0.5)

車両関係費 上記、車両関係費(減価償却費、自動車保険料、自動車税、利息償還)の合計額とする。

※ 別途加算する。

令和8～17年度 玉島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託費用試算表

車1台当たりの年間運行経費

資源ごみ(びん類・蛍光管)

消費税 10% 1.1

NO. 1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)													
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎														
直 人 件	給 料	⑭ 円	収集人員 = 運転手+作業員														
			・運転手(1名) 円 / 月 × 1名 × 12月 = 円	・作業員(2名) 円 / 月 × 2名 × 12月 = 円	※スプレー缶は作業員1名												
	諸 手 当	2,214,000 円	(あ+い+う+え)														
			・扶養手当(配偶者・子供1人) 61,500 円 / 名 × 3名 × 12月 = 2,214,000 円	配偶者 3,000 円 / 月 子供1人につき 11,500円/月													
			・通勤手当 (3,000 円 / 月 + (11,500 円 / 月 × 1人)) = 14,500 円 / 月	・住居手当 8,000 円 / 月	・特勤手当 2,000 円 / 月	・特勤手当 1,850 円 × 20日 / 月 = 37,000 円 / 月	合計 61,500 円										
賞 与	円	年間 4.60 ヶ月	・運転手(1名) 円 / 月 × 1名 × 4.60月 = 円	・作業員(2名) 円 / 月 × 2名 × 4.60月 = 円													
接 費	法定福利費	円	・健康保険料 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 = 円	・厚生年金 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 = 円	・雇用保険料 円 × 6 / 1000 = 円	・労災保険料 円 × 13 / 1000 = 円	・児童手当拠出金 円 × 3.6 / 1000 = 円										
			人件費計 円														
			福 利 厚 生 費	被 服 費	円	(‘か’から‘た’までの合計額) 円 / 名 × 3名 × 年 = 円											
						・作業服(夏・冬それぞれ年2回)	夏 円 / 着 × 2着 = 円	冬 円 / 着 × 2着 = 円	・防寒着(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円	・雨合羽(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円	・作業靴(年1足) 円 / 足 × 1足 = 円	・ゴム手袋(年12双) 円 / 双 × 12双 = 円	・長靴(2年1足) 円 / 足 × 0.5足 = 円	・作業帽子(年1回) 円 / 個 × 1個 = 円	・軍手(月1双) 円 / 双 × 12双 = 円	・石鹸(年20個) 円 / 個 × 20個 = 円	・タオル(年12枚) 円 / 枚 × 12枚 = 円
						福利厚生費計 円											

(賃金センサスの廃棄物処理従業員の平均給与月額)
(諸手当:上記金額に含む)

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)

あ国家公務員一般職の給与に関する法律による。
い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,629円)
え国家公務員に塵芥作業に該当する特殊勤務手当がないため、
倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)
0

・健康保険料(40才未満を適用。) 101.7(R7.3~)介護非該当
・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法

○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

単価=R5倉敷市(一般廃棄物対策課)購入単価。

支給個数等=倉敷市に準ずる。

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)					
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎						
			直	物					
費	消 耗 品	・タイヤ	円 / 本	×	1.1 × 6 本	1 回 / 2年 =	円	2年に1回の交換	
		・エンジンオイル	円 / ㍓	×	1.1 × 5 ㍓ ×	4 回	=	円	3ヶ月に1回の交換
		・バッテリー	円 / 個	×	1.1 × 1 回 ×	1 / 2 年	=	円	2年に1回の交換
		・洗油	円 / ㍓	×	1.1 × 5 ㍓ ×	2 回 / 年	=	円	オイル交換2回に1回の作業、1回に5㍓。
		・ポンプオイル(油圧)	円 / ㍓	×	1.1 × 2 ㍓ ×	12 回 / 年	=	円	月1回の給油、1回に2リットル
		・不凍液	円 / ㍓	×	1.1 × 2 ㍓		=	円	年1回継ぎ足し、1回に2リットル
		・ギヤオイル	円 / ㍓	×	1.1 × 6 ㍓		=	円	年に6リットル
		件 費	・洗車ブラシ	円 / 個	×	2 本		=	円
	・ウエス		円 / 束	×	2 束		=	円	年に2束(税込)
	・バケツ		円 / 個	×	1 個		=	円	年に1個(税込)
	・洗車石鹸		円 / 缶	×	1 缶		=	円	
	・ワックス		円 / 個	×	2 個		=	円	
	・竹ホーキ		円 / 本	×	2 本		=	円	
	・塵取ホーキ		円 / 本	×	2 本		=	円	
	・チトリ		円 / 個	×	2 個		=	円	
	・スコップ		円 / 本	×	1 本		=	円	
	接 費	燃 料	びん・蛍光管	円	軽油:燃料1リットルにつき6.5km走行するとして算定する。				
費 費		びん・蛍光管	円 / ㍓ ×	1.1 ×	5,526 km / 年 ÷	6.5 km / ㍓ ÷	0.5 台	=	円
		スプレー缶	円 / ㍓ ×	1.1 ×	294 km / 年 ÷	6.5 km / ㍓ ÷	0.1 台	=	円
修 繕 料		(ま+み+む)の合計額	円						
		・車検修理(年1回)	円 ま						
		・定期点検(6ヶ月点検)	円 み						
		・一般修理	円 む						
費	物件費計	びん・蛍光管	円						
		スプレー缶	円						

2年に1回の交換
 3ヶ月に1回の交換
 2年に1回の交換
 オイル交換2回に1回の作業、1回に5㍓。
 月1回の給油、1回に2リットル
 年1回継ぎ足し、1回に2リットル
 年に6リットル

年に2本(税込)
 年に2束(税込)
 年に1個(税込)

3 t 低床トラック(リフト付) 平均燃費 6.5km/リットル(全センター)

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)			
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎				
直	車	減価償却費	・3tリフト付トラック	C 円(諸経費を除く車両本体価格)	$1.1 \times$	$= d$ 円	
				C 円 / 台	\times	標準使用年数10.5年、償却率年0.095	$=$ 円
接	係	費用	・強制保険料		円 / 年	$=$ 円	
			・任意保険料	[対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]	\times	1年	$=$ 円
			・登録代行手数料		\div	10.5年	$=$ 円
			・車庫証明代行手数料		\div	10.5年	$=$ 円
			・納車手数料		\div	10.5年	$=$ 円
接	係	費用	・自動車取得税	172,000 円	\div	10.5年	$=$ 16,381 円
			・自動車重量税	75,600 円	\div	2年	$=$ 37,800 円
接	係	費用	・自動車税			$=$ 16,000 円	
			・自動車税			$=$ 16,000 円	
費	利息償還	・中小企業融資制度	3t低床トラック(リフト付)車 取得価格	\times	1.1	$=$ 円	
			借入金利率 年1.80%(変動金利) 償還期間 1年を超え8年以内(据置1年以内) 保証料 年1.0%	(円 \times 0.018 / 年)	$+$	(円 \times 0.01 / 年)	$=$ 円
車両関係費							
費	予備車経費	— 円					
直接費合計		資源(びん・蛍光管・スプレー缶)				円	

標準使用年数 10.5年=R5年度建設機械等損料表による。

任意保険 [対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]

※ 車両保険は計上しない。

企業安定資金融資(中小企業者):(R6.4現在)
 限度額 2,000万円以内、 融資利率 1.80%、 保証料 1.52%以内

消費税 10% 1.1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎			
間 人 諸 手 当 賞 与 法 定 福 利 費 費	報酬	円	・現場責任者			円
	給料 (賞金含む)	賞金 計	・事務員(正社員1名) 円 × 1名 × 12ヶ月 =			円
			・事務員(臨時職員1名) 円 + 3600円 × 1名 × 12ヶ月 =			円
	諸 手 当	738,000円	(あ+い+う+え) 61,500円 / 名 × 1名 × 12ヶ月 =			738,000円
			・扶養手当(配偶者・子供1人) 配偶者 3,000円 / 月 子供1人につき 11,500円 / 月 3,000円 / 月 + (11,500円 / 月 × 1人) =			14,500円 / 月
			・通勤手当			8,000円 / 月
			・住居手当			2,000円 / 月
			・特勤手当			37,000円 / 月
	合計 61,500円					
	賞 与	円	・事務員(正社員1名) 円 / 月 × 1人 × 4.60ヶ月 =			円
・事務員(臨時職員1名) 円(6月) + 円(12月) =			円			
接 定 福 利 費 費	健康保険料	円	(現場責任者) 円 × 117.6 / 1000 × 1 / 2 =			円
			(正社員) 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 =			円
			(臨時職員) 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 =			円
	厚生年金	円	(現場責任者) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
			(正社員) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
			(臨時職員) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
	雇用保険料	円	(現場責任者) 円 × 6 / 1000 =			円
			(正社員) 円 × 6 / 1000 =			円
			(臨時職員) 円 × 6 / 1000 =			円
	労災保険料	円	(現場責任者) 円 × 13 / 1000 =			円
			(正社員) 円 × 13 / 1000 =			円
			(臨時職員) 円 × 13 / 1000 =			円
児童手当拠出金	円	(現場責任者) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
		(正社員) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
		(臨時職員) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
人件費計	円					

・事務員(正社員)
岡山県勤労統計調査(R5年分)から平均月額給料

・事務員(臨時)
賞金は、市の会計年度職員の報酬(一般事務)を適用する。

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)
あ国家公務員一般職の給与に関する法律による。
い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,629円)
え国家公務員に庶務作業に該当する特殊勤務手当がないため、
倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)

・事務員(臨時社員)の賞与は、市の臨時職員の一時金を適用する。

健康保険料(現場責任者 40才以上を適用)117.6 R7.3~改正
(正社員 40才未満を適用)101.7 R7.3~ 介護非該当

・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法
○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)	
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎		
福利厚生費	福利厚生費		レクリエーション費等(臨時職員除く)		
		53,010 円	・現場責任者、正社員	3,100 円 / 名 × 2 名 = 6,200 円	
			・収集人員(運転手、作業員)	3,100 円 / 名 × 15.1 名 = 46,810 円	
福利厚生費計		53,010 円			
間 物 件 費	消耗品費	■ 円	帳簿用紙、その他事務用品 ■ 円 / 年 = ■ 円		
	光熱水費	■ 円	光熱水費 ・電気料 ■ 円 ・水道料 ■ 円 ・プロガス ■ 円 ・灯油代 ■ 円 合計 ■ 円 事務所面積1㎡あたり ■ 円 ■ 円 × ■ ㎡ = ■ 円		
	通信運搬	■ 円	・電話料金 ■ 円 × 1 本 = ■ 円		
	委託費	■ 円	・消防設備点検 @ ■ 円 × 4 本 × 1.1 = ■ 円 ・浄化槽維持管理費 (■ 円 × 12 ヶ月) + (■ 円 (年1回清掃費)) = ■ 円 ・建物警備 (■ 円 × 12 ヶ月) = ■ 円 ・建物清掃 52 週 × ■ 円 × 8 H × @ ■ 円 = ■ 円		
費	賃借料(公課費)	■ 円	・土地 面積 ■ e ㎡ 固定資産税(都市計画税含む。) ■ f 円 1㎡あたりの税額 g=f/e 円 事務所に必要な土地(積算根拠) 18.1 人 × 5 ㎡/人 = 90.5 ㎡ 車庫に必要な土地(積算根拠) 8.30 台 × 30 ㎡/台 = 249 ㎡ 事務所土地代 90.5 ㎡ × ■ g 円 = ■ 円 車庫土地代 249 ㎡ × ■ g 円 = ■ 円		
	(土地)(建物)(建物)		・建物 面積 ■ h ㎡ 固定資産税(都市計画税含む。) ■ i 円 1㎡あたりの税額 j=i/h 円 事務所に必要な建物(積算根拠) 18.1 人 × 5 ㎡/人 = 90.5 ㎡ 事務所建物代 90.5 ㎡ × ■ j 円 = ■ 円		
			・建物(車庫) 面積 ■ k ㎡ 固定資産税(都市計画税含む。) ■ l 円 1㎡あたりの税額 m=l/k 円 車庫に必要な建物(積算根拠) 8 台 × 30 ㎡/台 = 249 ㎡ 車庫建物代 249 ㎡ × ■ m 円 = ■ 円		
	物件費計	■ 円			

週1回清掃

令和6年度 試算

(令和8年度 委託分)

事務所経費分

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
間 接 費	有形 固定 資産 費	減価 償却 費	・償却方法 定額法			
			品 目	年 数	率	単価(税込)
			机 (事務用)	15年	0.066	円
			椅子 (事務用)	15年	0.066	円
			セールスマンデスク (作業員)	15年	0.066	円
			椅子 (作業員)	15年	0.066	円
			更衣ロッカー (作業員)	15年	0.066	円
			更衣ロッカー (事務員)	15年	0.066	円
			事務用ロッカー(小)3×3 引違引出なし	15年	0.066	円
			事務机	円/脚	×	4脚 × 0.066
事務椅子	円/脚	×	4脚 × 0.066	= 円		
セールスマンデスク	円/脚	×	8脚 × 0.066	= 円		
作業員椅子	円/脚	×	15.1脚 × 0.066	= 円		
更衣ロッカー作業員	円/脚	×	15.1脚 × 0.066	= 円		
更衣ロッカー事務員	円/脚	×	4脚 × 0.066	= 円		
事務用ロッカー	円/脚	×	2脚 × 0.066	= 円		
有形固定資産費計		円				
間 接 費	管 理 費	退職 金 共 済 費	中小企業退職金共済制度 ※ 臨時職員1名は除く。			
			2,462,400 円	・収集人員(運転手、作業員)	12,000 円 × 15.1 人 × 12 ヶ月	= 2,174,400 円
				・現場責任者、正社員	12,000 円 × 2 人 × 12 ヶ月	= 288,000 円
間 接 費	理 費	事務所 及び 車庫 の減価 償却費 等	事務所 (定額法、償却年数30年) (1÷30)= 0.034			
			249,237 円	90.5 m ² × 90,000 円 = 8,145,000 円		
				(8,145,000 円 - 814,500 円) × 0.034	= 249,237 円	
間 接 費	理 費	車庫 の減価 償却費 等	車庫 (定額法、償却年数20年) (1÷19)= 0.052			
			699,192 円	249.0 m ² × 60,000 円 = 14,940,000 円		
				(14,940,000 円 - 1,494,000 円) × 0.052	= 699,192 円	
合計		948,429 円				
管理費計		円				
間接費合計		円				

中小企業退職金共済制度に基づき、賃金を基準に掛け金を設定。

・人員 (収集+事務) 18.1人
 ・事務所面積 1人当たりの占有面積5m²に設定
 ・事務所建築費 m²単価=全国市有物件災害共済会等を参考に90,000円とする。
 (耐用年数:事務所用(鉄骨造4mm以下)30年とする。)

・車両 8.30台
 ・車庫面積 1台当たりの占有面積30m²に設定
 ・車庫建築費 m²単価=全国市有物件災害共済会等を参考に60,000円とする。
 (耐用年数:車庫用(鉄骨造3mm以下)19年とする。)